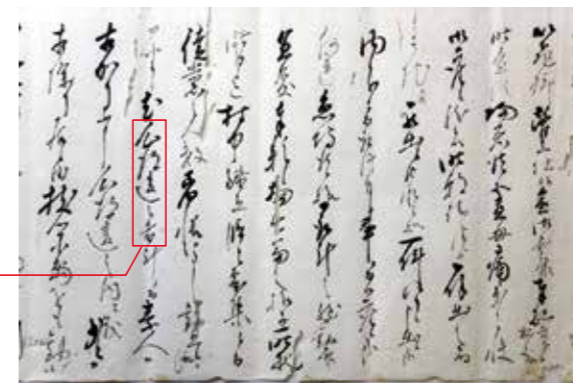


学芸員のイチオシ

文化課 稲津貴久

天草市には、考古学や古生物学などの専門的知識を持つ学芸員がいます。その学芸員が、天草の歴史や自然などに関する「イチオシ」を紹介します。

Vol. 008 書状(異宗仕返しの件)



心得違之者

文化8 (1811) 年に今富村 (現在の河浦町今富) で起こった村方騒動^{*1}に関する書状で、高濱村庄屋・上田源作 (直珍) が都呂々村の酒井庄屋に宛てたものです。当時、今富村の庄屋を務め、村内のキリシタン探索を主導した上田演五右衛門^{えんご えもん}に対して、村民たちが訴訟集団 (合足組) を結成し、庄屋の罷免を要求したことが書かれています。

この書状は、文化2 (1805) 年に起こった天草崩れ^{*2}以降のもので、訴訟集団の中に、天草崩れで「心得違之者」(潜伏キリシタン) とされた村民が多く含まれていることが、近年の資料調査により明らかになりました。このことから、天草崩れの後、表向きはキリシタンがいない社会とされた一方で、その後もキリシタンが残っていたことが読み取れます。

12月7日から天草ロザリオ館で開催する企画展「潜伏キリシタンのまなざし—禁教と祈り—」(28ページ参照) で展示しますので、この機会にぜひご覧ください。

^{*1}…江戸中期から後期にかけて各地で頻発した農民の村政改革運動
^{*2}…高浜・大江・崎津・今富の各村で人口の約半分にあたる人がキリシタンであると発覚したが、「心得違」として処理された。

天草 見どころ図鑑

しょうかくじ 正覚寺 (有明町上津浦)

正覚寺は、島原・天草一揆で荒廃した天草を仏教により治めようとした鈴木重成が、名僧・中華珪法を招き、天草上島の中心となる寺の一つとして1646年に建立した曹洞宗の寺院です。

正覚寺の山門左側には、かつてキリシタンの布教の拠点となった「南蛮寺 (教会)」があったと推測されています。昭和60年の本堂改修工事の際に発見されたキリシタン墓碑は、県の指定文化財になっています。



★ここに注目
かまぼこ型墓碑には、「IHS」というイエズス会の紋章や千十字が入っており、うち一つには慶長11 (1606) 年の年号が見られます。



キラリ天草人

福連木子守唄 & 童謡まつり実行委員会

(天草町)

地域の伝統をいつまでも

「おどま盆ぎり盆ぎり、盆から先きやおらん」。11月に天草町の福連木子守唄公園に響く唄声。同町で300年以上うたい継がれてきた「福連木の子守唄」の一節だ。

の約3分の1にあたる20歳代から70歳代までの80人が参加しており、地元の中学生も手伝ってくれる。「町外に住む出身者も手伝ってくれるが、祭りを継続するための人手や費用の確保が大変だ」と話す平松和徳さんは委員長を務めて20年。令和2年にはクラウドファンディングに挑戦し、目標金額の1.5倍もの資金を得ることができた。多くの支援に「地域の伝統を守りたい」との思いが強まったそうだ。祭りの当日に実行委員会で販売するがねあげ用の芋も6月頃から育て始めるなど、地域で祭りへ向けた準備をしている。

「祭りに足を運んで、福連木の自然豊かなところと素晴らしい伝統を知ってほしい」と話す平松さん。地域の伝統をうたい継ぐこの祭りが、いつまでも続くことを願い活動を続けていく。

※静岡県沼津市、和歌山県岩出市、岡山県井原市、大分県佐伯市、長崎県島原市、熊本県五木村・天草市

諸説あるが、福連木の子守唄は「五木の子守唄」(五木村)の元歌ともいわれ、球磨地方に出稼ぎに出された娘たちが望郷の念に駆られ、両親への想いをうたったものと伝えられている。この子守唄を後世にうたい継ぐとともに、地域活性化につなげようと毎年開催されているのが「福連木子守唄&童謡まつり」だ。

祭りの始まりは、子守唄発祥の地という縁で結ばれた全国子守唄協議会に加盟する^{*7}つの自治体が合同で開催した「全国子守唄サミット&フェスティバル」。第1回を岡山県井原市で昭和62年に開催し、最後となる平成28年の福連木での開催までの30年間、7つの自治体で持ち回った。福連木で平成7年に開催されたことをきっかけに、翌年、地域に実行委員会が発足した。その後は、全国で持ち回る祭りのほか、福連木で独自に開催し、今年で27回目。当初は福連木の子守唄のための祭りだったが、子どもたちを中心に据えた祭りにしたいと童謡を加え、現在の形となった。